

## 山 行 報 告 書

山行報告者：齋藤

山 域・山 名：東京都 三宅島 七島展望台 長太郎池 坪田林道 大路地他	
入山日又は期間：平成 28年 11月 4日(金) ～ 6日(日) (2泊3日)	
プラン担当者 正：今田 副：	
参 加 者	L：今田 記：齋藤 報：鈴木 中村、池ヶ谷
	男 5名、女 0名、計 5名
天候：期間中快晴	
11月4日(金)	21:40 竹芝客船ターミナル集合～22:30 竹芝出航～(船中泊)～
11月5日(土)	4:50 錆ヶ浜港着～(バス)～5:30 大久保浜着～テント設営 朝食 7:27 大久保浜発～(バス)～8:04 富賀神社着～9:30 七島展望台 478m～ 10:30 富賀神社着(神社散策)～11:00 富賀神社発～(徒歩)～11:20 新瀨池跡着～ 11:33 新瀨池跡～(バス)～12:05 大路池着～(大路池散策)～12:40 大路池発～ (徒歩)～坪田～(坪田地区散策)～15:32 坪田発～(バス)～16:02 大久保浜着～ 食材購入後、大久保キャンプ場にてテント泊
11月6日(日)	テント撤収～7:27 大久保浜発～(バス)～8:08 新瀨池跡着～8:35 新鼻エリア着～ (新鼻エリアにてクライミング)～11:30 クライミング終了～(バス)～ 12:10 錆ヶ浜港着～ふるさとの湯で入浴～13:00 錆ヶ浜港発～19:00 竹芝着 解散
村営バス 2日パス 1000円 東海汽船 2等和室ネット予約往復 10320円	
装 備 と 食 糧	共同装備： ロープ 50m、補助ロープ
	個人装備：雨具、コンパス、地図、防寒服、水筒、ヘッドランプ、テント、コッフェル、 バーナー、シュラフ、マット、銀マット、サブザック 着替え、お風呂セット、ヘルメッ ト、ATC、ハーネス、カラピナ、スリング、シューズ、チョーク、 5,6日朝食、昼食、行 動食
感 想	初日、竹芝ターミナルでの集合。ピークシーズンでないにも関わらず、乗船客の多さに驚いた。 その多くは釣り人で、それに交じって、ダイバー、サーファー、ボルダーか？乗船した貨客船 の橋丸。2等和室でも個別に使用区画が決められていたので快適であった。乗船後は、早速デ ッキへ移動、夜景を見ながらの酒盛りとなった。 2日目。三宅島錆ヶ浜港へ到着。その後バス移動で、大久保浜キャンプ場へ周囲が暗い打ちに 到着した。ビーチに面したキャンプ場。広くはないが、トイレ、調理場等が整備されていて、 非常に好印象。テント設営し朝食後、移動。噴火前には牧場であった場所を経て、眺望の七島 展望台に到着(写真参照)。軽装で歩道の登り降りであったが、思いのほか、疲れた。その後、

感想

バスと歩行で移動、富賀神社、新澁池跡、大路池、そして、坪田地区に至る。食材を調達しつつ、大久保浜キャンプ場に戻る。夕食はおでんを美味しく食べた。最高！  
3日目。テント撤収、朝食後、新鼻エリアへ移動。新鼻新山は、1998年の噴火により形成された山。周囲は溶岩による黒い砂利に一面覆われていて、昔映画で見た異星に似ている。懸垂下降で、崖下へ降りた後、“今田ルート”（←命名!）にて、トップロープクライミング。緊張感がありつつも、楽しいクライミングとなった。その後、釣り人の占有により予定時間のバスに乗れなかったものの、無事に錆ヶ浜へ移動。出航までの時間を利用して、ふるさとの湯で入浴。往路と同じ橋丸で竹島ターミナルへ到着、解散となった。

私にとって、初めての伊豆諸島となった今回の三宅島へ山行は非常に天候に恵まれたものとなった。三宅島は自然には恵まれているものの、バスは本数が少なく、商店も小売店が、数える程しかない。都会に慣れた者の感覚からすると利便性は今一つか？約 20 年間隔で発生するという噴火と共に生きる島の人々の気持ちを思った。山行は修学旅行の様な感覚で楽しむことが出来た。プランナーである今田さん、一緒にした中村さん、鈴木さん、池ヶ谷に感謝です！

三宅島

